

第2回

日本の食料生産

学習日 月 日

得点

/100点

1 米作りに関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(40点)

米作りがさかんな地域は、北海道や東北地方、関東地方、**A**中部地方です。稲は、もともとあたたかい地域の作物でしたが、(**B**)によってすずしい地域でも育てることができるようになりました。なえは寒さに弱いので、(**C**)の中で育てます。**D**ほ場整備などの効果で楽に農作業を進められるようになったことや、(**B**)によって、米の生産量は大きく増えましたが、米があまることにもつながりました。

(1) —— **A**について、中部地方の9県のうち、米の生産量が多い上位3県を正しく示した地図を、次の**A**~**ウ**の中から1つ選び、記号を書きなさい。(10点)



()

(2) 文章中の (**B**)・(**C**) にあてはまる言葉の正しい組み合わせを、次の**A**~**エ**の中から1つ選び、記号を書きなさい。ただし、2か所の (**B**) には同じ言葉があてはまります。(10点)

- A** **B**…品種改良 **C**…ビニールハウス
- イ** **B**…品種改良 **C**…カントリーエレベーター
- ウ** **B**…有機肥料 **C**…ビニールハウス
- エ** **B**…有機肥料 **C**…カントリーエレベーター

()



3 1 (3) —— **D**について、右の図を見て、ほ場整備の目的と、ほ場整備で具体的にやったことを説明しなさい。(20点)

[]

2 水産業について、あとの問いに答えなさい。(30点)

(1) 右の表は、かつお類の漁獲量が多い上位5都道府県を示しています。かつお類の漁獲量が多い都道府県に共通する特徴を説明しなさい。(20点)

都道府県	かつお類の漁獲量
静岡県	72093 t
東京都	29940 t
三重県	27207 t
高知県	20113 t
宮城県	16429 t
全国計	240051 t

[]

(2) 水産業に関係する人は、水産資源の保護にも気をつけています。それに関する文としてまちがっているものを、次の**A**~**エ**の中から1つ選び、記号を書きなさい。(10点)

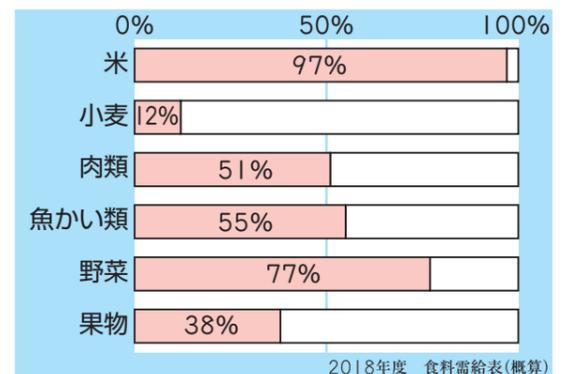
- A** 漁業では、とらえた魚が小さすぎる場合、海に다가すこともある。
- イ** 山の自然は、水産業に関係がないので、重視されていない。
- ウ** 養殖業では、えさや薬のやりすぎで自然をよごさないよう気をつけている。
- エ** 栽培漁業は、稚魚を放流するため、魚の数が減りにくくなる効果もある。

()

3 食料生産について、あとの問いに答えなさい。(30点)

(1) 右のグラフを見て、グラフにある品目のうち、日本が輸入にたよっている割合が高いもの上位2つを書きなさい。(各5点)

()
()



日本の食料自給率

3 2 (2) 次の表は日本の農業についての統計であり、日本の農業のきびしい状況が見てとれます。一方、農業で働く人の努力や工夫の結果も読み取ることができます。努力や工夫の結果がどのように表れているか説明しなさい。(20点)

年	農業総生産額	農業就業人口
1990年	11.5兆円	482万人
2018年	9.1兆円	175万人

農林水産省

[]

答えは『答えと考え方』